

<p>学校教育目標 ○健康な子ども ◎考える子ども【重点目標】 ○助け合う子ども ○進んでやる子</p> <p>○目指す学校像 「行きたい学校(子供・教職員)」「行かせたい学校(保護者)」「行ってみたい学校(地域の方々)」 ○目指す児童・生徒像 「自分の考えをもち、深く、広げる子」「頑張り、たくましく心と体をもつ子」 ○目指す教師像 「子供に深い愛情をもち、環境を大切に」「保護者・地域とともに子供を育てる」「切磋琢磨し、授業力・教師力を向上させる」 「教育公務員としての自覚をもつ」「支え合い、高め合う「チーム町五小」</p>	<p>学校経営の重点 「確かな学力の育成」「豊かな心の醸成」「教職員の仕事の効率化」</p> <p>＜重点目標の成果と課題＞>素直で明るく、何事にも前向きに取り組もうとする児童が多い。>全国学力状況調査の正答率は国語・算数・理科ともに全ての教科で全国・及び東京都の平均を上回っている。 ◆配慮を要する児童が多く在籍しているため、通級指導学級、保護者、関連機関との連携が不可欠である。>保護者・地域が非常に協力的で、連携がよく図られている。 >教職員間の協力体制がよくとれており、新たな試みに取り組もうとする意識が高い。◆主任教諭が学年経営や学校運営でリーダーシップを発揮し、若手教員への指導・助言をする役割を果たす。 ◆特別支援教室に通う児童が多いので、より質の高い教育指導と専門性の習得が求められる。</p>
---	--

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策(数字=学校経営方針)	取組指標「4」「3」の肯定的評価平均(「4」「3」のパーセンテージ)	平均	評価	成果指標「1」「2」の肯定的評価パーセンテージ ※「1」「2」のうちどちらかといえばそう思う。	○%	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価記入欄	評価		
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	教育活動や日常の様子を積極的に発信し、教育活動への理解を深める。	1 学校公開や保護者会、学校行事を毎月設定し、創意工夫しながら積極的に教育活動を公開する。(9)(17)	A 90%以上の教職員が積極的に公開した。 B 80%以上の教職員が積極的に公開した。 C 70%以上の教職員が積極的に公開した。 D 積極的に公開した教職員は70%未満	(%)		A 学校評価アンケート「ア」①「教育活動を公開」85%以上 B 学校評価アンケート「ア」①「教育活動を公開」80%以上 C 学校評価アンケート「ア」①「教育活動を公開」70%以上 D 学校評価アンケート「ア」①「教育活動を公開」70%未満	%							
			2 学校ホームページや学校・保護者間連絡システムを活用し、積極的に情報発信をする。(9)(17)	A 90%以上の教職員が積極的に発信した。 B 80%以上の教職員が積極的に発信した。 C 70%以上の教職員が積極的に発信した。 D 積極的に発信した教職員は70%未満	(%)		A 学校評価アンケート「ア」②「情報を発信する」85%以上 B 学校評価アンケート「ア」②「情報を発信する」80%以上 C 学校評価アンケート「ア」②「情報を発信する」70%以上 D 学校評価アンケート「ア」②「情報を発信する」70%未満	%							
		学校運営協議会の仕組みを活用して地域との連携・協働を推進していく。	3 学校運営協議会において学校運営や学校運営に必要な支援に関する協議を行う。(1)	A 年間6回以上の会議を開催した。 B 年間5回以上の会議を開催した。 C 年間4回以上の会議を開催した。 D 会議の開催が4回未満	(%)		A 学校評価アンケート「ア」④「保護者地域との一体化」85%以上 B 学校評価アンケート「ア」④「保護者地域との一体化」80%以上 C 学校評価アンケート「ア」④「保護者地域との一体化」70%以上 D 学校評価アンケート「ア」④「保護者地域との一体化」70%未満	%							
			4 学校支援ボランティアや地域人材・関係機関と連携した体験的な学習を行う。(9)	A 90%以上の学級で計画通り取り組んだ。 B 80%以上の学級で計画通り取り組んだ。 C 70%以上の学級で計画通り取り組んだ。 D 計画通り取り組んだ学級が70%未満	(%)		A 学校評価アンケート「ア」③「地域人材の活用」85%以上 B 学校評価アンケート「ア」③「地域人材の活用」80%以上 C 学校評価アンケート「ア」③「地域人材の活用」70%以上 D 学校評価アンケート「ア」③「地域人材の活用」70%未満	%							
		教育職員の業務の縮減と適正化を進め、ライフワークバランスを確立する。	5 学校行事の精選、諸会議や学年会の効率的な運営・ペーパーレスによる時間短縮等によって、業務量管理を行う。(18)	4 週平均3日以上会議をない日を設定する。 3 週平均2日以上会議をない日を設定する。 2 週平均1日以上会議をない日を設定する。 1 週平均会議がない日が1日未満	(%)		A 1人当たりの月平均時間外在校等時間30時間以下の割合 90%以上 B 1人当たりの月平均時間外在校等時間30時間以下の割合 80%以上 C 1人当たりの月平均時間外在校等時間30時間以下の割合 70%以上 D 1人当たりの月平均時間外在校等時間30時間以下の割合 70%未満	%							
			6 毎週水曜日をはじめとした定時退日を設定し、年間計画に記載することで、全教職員に周知する。(18)	4 定時退動日を月に4日以上設定した。 3 定時退動日を月に3日以上設定した。 2 定時退動日を月に2日以上設定した。 1 設定した日数が2日未満設定または設定なし	(%)		A 勤務実態調査「仕事と生活の調和がとれている」80%以上 B 勤務実態調査「仕事と生活の調和がとれている」75%以上 C 勤務実態調査「仕事と生活の調和がとれている」70%以上 D 勤務実態調査「仕事と生活の調和がとれている」70%未満	%							
確かな学力の育成	子どもが主体的に学び、教師が導く授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。	主体的・対話的・深い学びの実現に向けた授業改革を図る。	7 「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり」を意識した指導を行うとともに、基本的な知識・技能を定着させる。(2)(3)(4)	A 90%以上の学級で取り組んだ。 B 80%以上の学級で取り組んだ。 C 70%以上の学級で取り組んだ。 D 取り組んだ学級が70%未満	(%)		A 学校評価アンケート「イ」①「基礎基本の習得」85%以上 B 学校評価アンケート「イ」①「基礎基本の習得」80%以上 C 学校評価アンケート「イ」①「基礎基本の習得」70%以上 D 学校評価アンケート「イ」①「基礎基本の習得」70%未満	%							
			8 自分の考えをもたせ、他者との協働しながら学ぶ学習過程の工夫をする。(3)(5)	A 90%以上の学級で取り組んだ。 B 80%以上の学級で取り組んだ。 C 70%以上の学級で取り組んだ。 D 取り組んだ学級が70%未満	(%)		A 児童アンケート「イ」⑥「自分の考えをもって伝え合う」85%以上 B 児童アンケート「イ」⑥「自分の考えをもって伝え合う」80%以上 C 児童アンケート「イ」⑥「自分の考えをもって伝え合う」70%以上 D 児童アンケート「イ」⑥「自分の考えをもって伝え合う」70%未満	%							
		効果的にICT(学習機器)を活用する。	9 学習コンテンツや学習ドリルソフトを活用し、個別最適化された学習を行う。(5)	A 90%以上の教職員が意識して指導した。 B 80%以上の教職員が意識して指導した。 C 70%以上の教職員が意識して指導した。 D 意識して指導した教職員が70%未満	(%)		A 学校評価アンケート「イ」⑤「ICT機器を週3回以上」85%以上 B 学校評価アンケート「イ」⑤「ICT機器を週3回以上」80%以上 C 学校評価アンケート「イ」⑤「ICT機器を週3回以上」70%以上 D 学校評価アンケート「イ」⑤「ICT機器を週3回以上」70%未満	%							
			10 タブレット端末を使って、意見を交換したり共有したりする授業の展開を図る。(3)(5)	A 90%以上の教職員が意識して指導した。 B 80%以上の教職員が意識して指導した。 C 70%以上の教職員が意識して指導した。 D 意識して指導した教職員が70%未満	(%)		A 児童アンケート「イ」⑤「クロムを進んで使う」85%以上 B 児童アンケート「イ」⑤「クロムを進んで使う」80%以上 C 児童アンケート「イ」⑤「クロムを進んで使う」70%以上 D 児童アンケート「イ」⑤「クロムを進んで使う」70%未満	%							
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にすることを意識・意欲・態度を育てる。	望ましい集団活動を通して、自己有用感や他者意識高め、豊かな心を育てる	11 全校朝会・学年集会・学級指導などを通して、規範意識を高める。(7)	A 90%以上の教職員が意識して指導した。 B 80%以上の教職員が意識して指導した。 C 70%以上の教職員が意識して指導した。 D 意識して指導した教職員が70%未満	(%)		A 学校評価アンケート「ウ」②「きまりを守る」85%以上 B 学校評価アンケート「ウ」②「きまりを守る」80%以上 C 学校評価アンケート「ウ」②「きまりを守る」70%以上 D 学校評価アンケート「ウ」②「きまりを守る」70%未満	%							
			12 異学年交流、児童会活動等を通して、自己のよさを認め、他者に対する思いやりの心をもたせる。(7)(8)	A 90%以上の教職員が意識して指導した。 B 80%以上の教職員が意識して指導した。 C 70%以上の教職員が意識して指導した。 D 意識して指導した教職員が70%未満	(%)		A 児童アンケート「ウ」⑥「異学年に取り組む」85%以上 B 児童アンケート「ウ」⑥「異学年活動に取り組む」80%以上 C 児童アンケート「ウ」⑥「異学年活動に取り組む」70%以上 D 児童アンケート「ウ」⑥「異学年活動に取り組む」70%未満	%							
		いじめの未然防止・早期発見・早期対応に向けた取組を推進する。	13 心のアンケート、QU調査、担任面談等をもとに、いじめの早期発見・早期解決を図る。(10)(12)	A 90%以上の教職員が指導を徹底した。 B 80%以上の教職員が指導を徹底した。 C 70%以上の教職員が指導を徹底した。 D 指導を徹底した教職員が70%未満	(%)		A 学校評価アンケート「ウ」①「いじめの防止」85%以上 B 学校評価アンケート「ウ」①「いじめの防止」80%以上 C 学校評価アンケート「ウ」①「いじめの防止」70%以上 D 学校評価アンケート「ウ」①「いじめの防止」70%未満	%							
			14 情報モラル教育や学校・家庭SNSルールを活用しネットマナーを身に付けさせる。(6)(11)	A 90%以上の教職員が意識して指導した。 B 80%以上の教職員が意識して指導した。 C 70%以上の教職員が意識して指導した。 D 意識して指導した教職員が70%未満	(%)		A 学校評価アンケート「ウ」⑤「ネットマナーが身に付いた」85%以上 B 学校評価アンケート「ウ」⑤「ネットマナーが身に付いた」80%以上 C 学校評価アンケート「ウ」⑤「ネットマナーが身に付いた」70%以上 D 学校評価アンケート「ウ」⑤「ネットマナーが身に付いた」70%未満	%							
健やかな体の育成	正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する。	食育及び健康教育を推進するとともに、運動の日常化と基礎体力の向上を図る。	15 給食指導や保健指導を通して、食育と健康教育を推進する。(13)	A 90%以上の教職員が意識して指導した。 B 80%以上の教職員が意識して指導した。 C 70%以上の教職員が意識して指導した。 D 意識して指導した教職員が70%未満	(%)		A 学校評価アンケート「エ」②「食・生活習慣が身に付く」85%以上 B 学校評価アンケート「エ」②「食・生活習慣が身に付く」80%以上 C 学校評価アンケート「エ」②「食・生活習慣が身に付く」70%以上 D 学校評価アンケート「エ」②「食・生活習慣が身に付く」70%未満	%							
			16 運動を「する」「見る」「支える」「知る」の視点で指導し、体を動かすことへの関心・意欲の向上を図る。(14)	A 90%以上の教職員が意識して指導した。 B 80%以上の教職員が意識して指導した。 C 70%以上の教職員が意識して指導した。 D 意識して指導した教職員が70%未満	(%)		A 児童アンケート「エ」①「運動に取り組む」85%以上 B 児童アンケート「エ」①「運動に取り組む」80%以上 C 児童アンケート「エ」①「運動に取り組む」70%以上 D 児童アンケート「エ」①「運動に取り組む」70%未満	%							
		安全な環境を整備し、自己・他者の命や心身を守る力を育成するための全校体制を維持・改善する。	17 安全指導日や様々な想定訓練を通して、登下校時の交通安全や不審者に対する安全意識を身に付ける。(15)	A 90%以上の教職員が指導を徹底した。 B 80%以上の教職員が指導を徹底した。 C 70%以上の教職員が指導を徹底した。 D 指導を徹底した教職員が70%未満	(%)		A 学校評価アンケート「ウ」④「事故・不審者への対応」85%以上 B 学校評価アンケート「ウ」④「事故・不審者への対応」80%以上 C 学校評価アンケート「ウ」④「事故・不審者への対応」70%以上 D 学校評価アンケート「ウ」④「事故・不審者への対応」70%未満	%							
			18 安全で清潔な環境を整えるため、校内の整備や美化に努める。(16)	A 90%以上の教職員が意識して取り組んだ。 B 80%以上の教職員が意識して取り組んだ。 C 70%以上の教職員が意識して取り組んだ。 D 意識して取り組んだ教職員が70%未満	(%)		A 学校評価アンケート「カ」①「校内美化に取り組む」85%以上 B 学校評価アンケート「カ」①「校内美化に取り組む」80%以上 C 学校評価アンケート「カ」①「校内美化に取り組む」70%以上 D 学校評価アンケート「カ」①「校内美化に取り組む」70%未満	%							

<p>教職員の自己評価(取組指標平均)</p> <p>4 取り組んだ。 3 どちらかというと取り組んだ。 2 どちらかというと取り組まなかった。 1 取り組まなかった。</p>	<p>取組指標評価基準(平均を割合に変換し評価する)</p> <p>取組指標平均 3.6以上(90%以上) 評価A 取組指標平均 3.2以上3.6未満(80%以上) 評価B 取組指標平均 2.8以上3.2未満(70%以上) 評価C 取組指標平均 2.8未満(70%未満) 評価D</p>	<p>成果指標評価基準</p> <p>成果指標肯定的評価割合(%)85%以上 評価A 成果指標肯定的評価割合(%)80%以上 評価B 成果指標肯定的評価割合(%)70%以上 評価C 成果指標肯定的評価割合(%)70%未満 評価D</p>	<p>学校関係者評価の評価基準</p> <p>4 評価できる 平均3.5以上 評価A 取組・成果ともに十分評価できる 3 おおむね評価できる 平均3以上3.5未満 評価B 取組・成果ともに評価できるが改善がある。 2 あまり評価できない 平均2以上3未満 評価C 目標達成には至らないため改善が必要である。 1 評価できない 平均2未満 評価D 重要な課題があるため重点的に改善する必要がある。</p>
--	--	---	--